



毎月第3日曜は「家庭の日」

子育てにおいて家庭が果たす役割は大変重要です。そこで、家族のきずなを大切にす日として、毎月第3日曜日を「家庭の日」と定め、併せて月別の取組みテーマを提案しています。

【月別テーマ】

- 12月「家族みんなで協力して、仕事を分担して助け合う」
1月「新しい年を迎え、一年の計画をたてる」
2月「寒さに負けない心と体をつくる」
3月「学期の節目を迎え、一年間の子どもの成長を祝う」

山形県青少年育成県民会議の活動にご理解とご協力をお願いします

令和3年度山形県青少年育成県民会議総会

5月31日(月)に県庁講堂で開催しました。今年度は新型コロナウイルス感染症対策として、参加方法を、現地又はオンライン参加、議案の書面決議から選べるハイブリッド開催としました。

事前に取りまとめた書面決議の結果を含め、議案はすべて原案通り可決され、令和3年度の活動方針、事業計画が決定しました。



第60回山形県少年の主張大会

中学生の皆さんが日頃抱えている思いや意見を発表する当大会が9月25日(土)、山形国際交流プラザ(山形ビッグウイング)で行われました。

今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、関係者以外無観客での開催となりましたが、県内4地区の代表15名が出場し、「一歩踏み出す」と題して発表した野崎さよ子さん(小国町立叶水中学校3年)が最優秀に選ばれました。



令和3年度「明るいやまがた、夏の安全県民運動出発式」

7月21日(水)～8月20日(金)の期間で当県民運動が展開され、初日の7月21日に山形県庁において出発式を行いました。

昨年同様、新型コロナウイルス感染症対策として内容等を縮小しての開催となりましたが、この出発式を皮切りに、県内各地域において、交通、防犯、青少年育成など各方面の皆様のご協力のもと、様々な取組みが実施されました。



エフエム山形「キッズガードキャンペーン」への協賛

県民会議では、エフエム山形主催の「Rhythm Station キッズガードキャンペーン 2021」に協賛しています。

この協賛金は、番組内のキャンペーン啓発スポット放送や県内小学校の新入生全員に「あんしん・あんぜんガイドブック」を、3年生全員に「よい子のゲームルールブック」を配布する費用の一部に活用されます。



鈴木慈県民会議会長からのメッセージ

今年度も新型コロナウイルスの更なる感染拡大により、イベントや外出の自粛要請が続き、各学校においても行事の中止や延期、規模縮小が相次ぐなど、青少年の健全な発達にも大きな影響が及んでおります。

そうした中、本会においても、10月31日に酒田市の公益研修センターで開催を予定していた山形県青少年健全育成県民大会が、新型コロナ感染症対策のため、初めてオンラインによる開催となりました。本来であれば、県内各地から青少年の育成に取り組む皆様に御参加をいただき、今後の青少年の健全育成に向け、心を新たに取り組みを共有する場とすべきところですが、何卒、御理解を賜りますとともに、引き続き、皆様からの御支援、御協力をお願いいたします。



山形県青少年育成県民会議入会のお願い

当会議では、次世代を担う青少年の健全な育成を図るため、「大人が変われば子どもも変わる」県民運動や「いじめ・非行をなくそう、やまがた県民運動」を展開しています。活動や趣旨にご賛同、ご協力いただける新規会員の方を募集しております。機関誌をご覧くださいいただいている皆様からも、ぜひお声がけをお願いいたします。

☆現在の会員数(1,352名) 令和3年10月末現在
会員の皆様には会報をお送りするとともに特別会員は会報及び総会資料に、賛助会員は総会資料にお名前を掲載させていただきます。

問合せ・申込み先

山形県青少年健全育成県民会議事務局
(県女性・若者活躍推進課内)
TEL: 023-630-2727
FAX: 023-632-8238



☆会員の種類と会費

- 特別会員(1口3万円)
- 賛助会員(1口5千円)
- 団体会員(1口1千円)
- 個人会員(1口1千円)

【特別会員】

- 全国農業協同組合連合会山形県本部
- 全国共済農業協同組合連合会山形県本部
- 一般社団法人山形県建設業協会
- 一般社団法人山形県銀行協会
- 山形放送株式会社
- 出羽三山神社
- 高橋畜産食肉株式会社
- 株式会社グローバルマシーン

敬称省略・順不同

見守る目・育む芽 45

山形県では、平成25年度から「いじめ・非行をなくそう」やまがた県民運動が展開されています。

<運動の基本方針>

- ◎学校、家庭、地域が連携し、みんなでいじめ・非行を許さない社会づくりをすすめていこう。
- ◎いじめを受けて悩んでいる子どもたちが相談しやすい環境をつくっていこう。



P1 いじめ・非行防止セミナー

P2 いじめ・非行防止セミナー発表者インタビュー&県民大会レポート

P3 令和3年度「いじめ・非行をなくそう」やまがた県民運動の取組み

P4 「県民会議の取組み」



いじめ・非行防止セミナー



10月31日、令和3年度山形県青少年健全育成県民大会が初のオンライン配信にて開催されました。同時開催の「いじめ・非行防止セミナー」では、第60回山形県少年の主張大会で最優秀を受賞した野崎さよ子さん(小国町立叶水中学校3年)による主張発表(ビデオ上映)、酒田市青少年を伸ばそう市民会議の池田久美子副会長による事例発表、青少年のネット問題に精通する(一社)ソーシャルメディア研究会チーフ技術指導員竹内義博氏による講演を行いました。

※野崎さよ子さんと池田久美子さんのインタビューは次ページに掲載。

講演 (一社)ソーシャルメディア研究会チーフ技術指導員 竹内 義博 氏

「スマホ世代の子どもたちのために大人たちができること ~withコロナの時代に向けて~」



講師の竹内義博氏

対策のポイント

- 事実を具体的に
- 事例を効果的に
- 双方の常識
- 一緒に考える

情報モラル教育、スマホ・インターネットの正しい使い方などを専門に、年間50回以上の講演や啓発授業を行い、青少年のネット問題について精力的な取組みで知られる竹内義博氏。

講演では、子どもたちのスマホ利用の現状や、SNSでのいじめ、ネットを介した出会いで起きる被害などについて、小学生から高校生まで2万7千件に及ぶアンケート調査の結果をもとに、分かりやすく解説しました。

人気アニメの登場人物を例に、いじめの構造の変化や、SNSを介したトラブルの実態について論説。ネットを介した出会いの危険性については、「海外の事業者が多いSNSは、日本の法律が追いついていないことも課題」と警鐘をならしています。

デジタル化が加速する現代社会において、「ネットやスマホを使うな」と言うのには限界があり、これからは「正しく怖がり、賢く使う」方法を教えていく必要がある、と竹内氏。

ネットに依存してしまうことに子どもたち自身も疲弊しており、何とかしてほしいと望む声がある実状をふまえ、「大人は子どもたちの現状を理解した上で、否定的に見るのではなく、どうしたらいいかを一緒に考えてあげることが大切。相談できる環境を整えるのはもちろん、地域での声かけや見守り運動は重要な存在である」と述べました。

オンライン配信の中、庄内地方青少年育成連絡協議会の宮田浩一会長と意見を交わす場面もあり、双方向の情報共有が図られた講演となりました。

※講演をYouTube上で視聴できます(申込制)。ご希望の方は県民会議事務局までお申込みください。

大人ができること

- ①機械の対策
フィルタリング(危険回避)
- ②人間の対策
大人が知る
一緒にルールづくり
相談出来る環境
地域での声かけ



宮田会長と中継で話し合う場面も

いじめ・非行防止セミナー 発表者インタビュー

interview

1

小国町立
叶水中学校 3年
のざき
野崎 さよ子さん

第60回山形県少年の
主張大会 最優秀
(題名「一歩踏み出す」)

震災に負けない母の
強い生き方を伝えたい



※第60回山形県少年の主張大会における発表者15名の主張については、県内4地区の教育事務所にて、DVDの貸出を行っております。

Q どんな気持ちでこの主張に臨みましたか

A 修学旅行の震災学習をきっかけに弁論のテーマを「東日本大震災」と決めました。私達家族は福島県に住んでいましたが、原発事故による避難区域となったため、6回の引っ越しを経験しました。大変な生活だったと思いますが、私には楽しい思い出ばかりが記憶に残っています。

あれから10年がたち、4歳だった私は15歳になりました。両親に当時のことを尋ね、この弁論を通して改めて振り返ることで大きな学びを得ることができました。“幼少期の貴重な時間を、原発という大人の事情で壊したくない。とびきり楽しい思い出にして、ちゃんと向き合うことができるようにしなければ”という母の強い思いのおかげで、10年たった今、私は真っすぐに向き合うことができています。

県大会当日も、皆さんの主張に感動し、まさか私が、と驚きました。しかし母の力強い生き方を皆さんに知ってもらえたことがとても嬉しいのです。

interview

2

酒田市青少年を
伸ばそう市民会議
副会長

いけだ くみこ
池田 久美子さん

いじめ・非行セミナー
事例発表者

対話を大切にした
独自の取組みを続ける



Q 活動を通じて感じていることを教えてください

A 酒田市青少年を伸ばそう市民会議は「青少年育成の重要性に鑑み、広く市民の総意を結集して次世代を担う青少年の健全な活動と育成を図る」事を目的に昭和56年に発足し、本年で40周年を迎えました。

当会の取組みで特筆すべきは「小・中学生と地域の大人との対話会」です。「家族や地域の人たちとの挨拶や会話」「自分の将来や大人と地域へのお願い」など、7つのテーマについて家族で話し合い、それを持ち寄って親と子の参加で行っています。活発な意見が飛び交うことも多く「子どもの考えを知るいい機会になった」という声も寄せられています。平成28年から継続して行っておりますが、今年は新型コロナウイルス感染症のため、書面にて開催し、会報での発表となりました。

少子高齢化・核家族化が一段と進んでいることを実感しますが、家族そろって地域活動に参加する機会をつくり、子どもたちの社会力を育むための力になればと思います。

令和3年度山形県青少年健全育成県民大会



初のオンライン配信による開催



山形県青少年育成県民会議
鈴木 慈会長の挨拶



本大会実行委員長・
庄内地方青少年育成連絡協議会
宮田浩一会長による開会のことば



酒田市青少年育成推進員連絡協議会
蘆田厚子会長の大会宣言

10月31日(日)、令和3年度山形県青少年健全育成県民大会がオンラインで開催されました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、内容等を縮小し、初めてオンラインによる開催となった今大会。事前の書面審査で承認を受けた大会宣言の唱和や今年度表彰の受賞者が発表され、コロナ禍の中でも青少年の健全育成について活動の火を絶やすことなく継続していく大切さを再認識する大会となりました。

<受賞者のみなさん>

長年各地区での街頭指導活動や青少年の非行防止等の青少年健全育成活動に貢献してきた方々を表彰いたしました。

青少年育成功労者

新関 知己 さん(天童市)
森 富喜子 さん(新庄市)
渡部 昭仁 さん(金山町)
伊左治 あけみ さん(米沢市)
高野 祐次 さん(南陽市)
斎藤 純市 さん(酒田市)
佐藤 訓 さん(酒田市)

令和3年度“いじめ・非行をなくそう”やまがた県民運動の取組み

令和3年度 いじめ防止 優秀標語

「いじめ防止」標語を募集したところ、県内の小・中学校及び特別支援学校333校から計55,093件の応募があり、今年度は下記4作品が見事優秀賞に輝きました。受賞者は10月31日にオンライン開催された青少年健全育成県民大会において発表され、表彰を受けました。

村山地区 いじめ菌 コロナといっしょに ふっ飛ばそう!
山形県立村山特別支援学校 3年 小座間 翔英 さん 作

最上地区 つながろう 今こそ心は ノーディスタンス
舟形町立舟形小学校 5年 沼澤 直太 さん 作

置賜地区 悩んだら ためこまないで まず相談
飯豊町立飯豊中学校 3年 館石 柚葵 さん 作

庄内地区 認めあおう 違いは「個性」 十人十色
鶴岡市立櫛引中学校 3年 渡部 ひより さん 作

令和3年度 いじめ・非行をなくそうポスター

“いじめ・非行をなくそう”やまがた県民運動の周知・啓発を図り、また「いじめ防止」優秀標語を広く県民の皆様に知っていただくため、県内高校生を対象にポスターデザインを募集し、作成しました。

鶴岡南高等学校通信制の課程
3年 齋藤 涼羽さん 作

自身の心から考えて行動すれば、相手の気持ちも考えて行動できると思ったので、このデザインにしました。



女性のためのこころの相談(オンライン)

県男女共同参画センター・チェリアでは、コロナ禍で様々な不安、人間関係の悩みなどを抱えている女性のために「女性のためのこころの相談」をオンラインで実施しています。

相談日は、原則毎月第1・3・5土曜日(14:00～16:00)です。女性の臨床心理士が相談をお受けします。相談無料、秘密厳守。お一人で悩みを抱え込まずに、ぜひご相談ください。

また、身の回りでそのような悩みを抱えている方がいる場合には、当相談窓口をぜひご紹介ください。

お問合せ

県男女共同参画センターチェリア
023(629)7751
お申込みはこちらから→



保護者の皆さんへ ペアレンタル コントロール※1をお願いします

学校で一人一台の端末を活用した学習が始まり、ご家庭でもスマホを利用するお子様が増えていますが、使い方について普段からお話していますか?

犯罪被害やトラブルを防ぐため、お子様とスマホの使い方について話し合い、お互い納得した上で利用ルールを決め、フィルタリングやペアレンタルコントロール機能で、使用時間や利用環境を把握していただくようお願いします※2。

お子様がSNSで発信している内容・相手に問題がないか、定期的に確認しましょう。心配なことがあれば、学校、警察に相談してください。お子様をネットトラブルから守るためのお願いです。



※1 お子様の発達段階に応じたインターネット利用の適切な管理
※2 機能の詳細は販売店等で確認ください。

若者相談支援拠点にご相談ください



県では、不登校やひきこもり、ニートなど社会参加に困難を有する若者やその家族の相談窓口として、「若者相談支援拠点」を県内4地域8か所に設置しています。

相談対応のほかにも、居場所の提供や体験活動、家族会など、それぞれの拠点が特色ある取組みを行っています。拠点がない市町村では、出張相談会を実施しています。

お一人(ご家庭内)で悩みを抱え込まずに、まずはご相談ください!

若者相談支援拠点

山形市

●認定NPO法人発達支援研究センター
●クローバーの会@やまがた
●NPO法人プチユナイテッドアスリートクラブ

新庄市

●NPO法人オープンハウスこんべいとう

米沢市

●NPO法人から・ころセンター
●NPO法人With優

鶴岡市

●NPO法人一歩・自立支援センターふきのとう

酒田市

●多機能福祉施設こもれば